

## スペイン オレンジ果汁価格高騰による青果の価格上昇を期待

[FreshPlaza](#) 2024年10月18日

コルドバ県(アンダルシア自治州)の2024/25年度のオレンジシーズンには大きな期待が寄せられており、当初の生産量見通しは前向きで昨年に比べて増加が見込まれる。

コルドバ県農畜産業協会のエドゥアルド・エラソ氏は、「アンダルシア州政府は先月、8月に収集されたデータに基づく生産量見通しを発表した。柑橘類では特に組織に加盟している生産者の割合がそれほど高くなく、オレンジの場合、コルドバ県では22%にも満たない。このため、正確な生産量を計算することは難しい。実際、公表された数字は少し高いと考えており、我々の予測ではコルドバ県の全般的な柑橘類の生産量は、州政府が発表した53.4%増ではなく、約30~35%増と見ている」と話す。(以下「」は同氏の話)

「しかし、今シーズンは生産量の増加とは別に、楽観的になる別の理由がある。それはオレンジ果汁の価格である。我々は以前から、オレンジの生産上の問題により果汁の価格が過去最高に達していることを報告してきたが、この高価格が生鮮市場の価格水準を押し上げることが願っている。」

「同時に、今シーズンは労働力の問題があるかも知れないと見ている。収穫と調製の労働者不足の影響は、通常収穫期が重なる柑橘類とオリーブが両方とも収穫量が少なかったため、これまでは深刻でなかった。しかし、今年は生産量が増加するため、生産者は収穫労働者を必死に探すことになるかと予想している。」

「このような状況に直面して、我々は既に他の国からの収穫労働者と契約できるように、割当の承認を求めている。17~18年前、労働力が不足していたため、収穫期には多くの人がルーマニアから来ていたことを覚えている。今年は、必要な行政上の決定が下されるまでは採用できる労働者の国籍はわからない。しかし、今シーズンは全ての状況が、労働力不足がコルドバ県やベガデルグアダルキビル地域全般の柑橘類生産者にとって大きな問題になることを示しているため、労働者はすべて歓迎されるだろう。」

**「サプライチェーン法がコストを下回る金額での契約に署名することを禁じているなら、その金額がいくらであるかを知る必要がある」**

労働力は必要かつますます不足しているリソースである。同時に、それは柑橘類の栽培において最も高い費用の1つである。実際、州の農畜産業協会が最近発表したレポートによると、今日のオレンジの平均生産コストは0.27ユーロ/kgに達している。

「バレンシア自治州の仲間達は、2020年以来変更されていなかった数値を更新した。この計算は簡単ではないことは認識している。例えば、バレンシア州の小規模農場は、アンダルシア州の大規模農場とは比較できないし、生産性等によって品種ごとに確かに数字が異なると思う。しかし、州の協会が提示したデータは、現実を非常によく表している。」

「何年もの間、我々はアンダルシア州政府とスペイン農業省に対し、柑橘類の生産コストの推計値の更新を求めてきた。なぜなら、サプライチェーン法によりコスト以下の金額で契約を結ぶことが禁止されているため、その金額を知る必要があるからだ。単純な価格帯でも十分であり、少なくとも参考になる。」

「既に収穫されているオレンジもあるが、当面は代表性のある価格データがない。10月下旬または11月上旬から柑橘類取引所が稼働しデータが収集されるのを待たなければならない。我々が言えることは、アンダルシア州のオレンジには既に多くの動きと高い関心があり、果汁の価格が青果の価格を最適なレベルに押し上げることに非常に期待しているということである。」